

年間指導計画・評価計画

第1学年 国語

月	単元名	学習内容
4月	「さあ はじめよう」	・絵を見て、何をしてどんな話をしている場面なのか出し合う。・唱歌を唱えながら、鉛筆の正しい持ち方を知る。・挨拶、名前、好きなもの等を伝え合い、たくさんの友達と交流する。
	「うたにあわせてあいうえお」	・「あいうえおの うた」を、いろいろな方法で音読する。
5月	「はなのみち」	・お話の内容を確かめながら、場面の様子やくまさんの行動について考える。
	「ぶんをつくろう」	・主語と述語を意識して文を書く。
6月	「つぼみ」	・「問い」と「答え」を確認し、「答え」の後に、詳しく説明している部分があることを確かめる。
	「おおきくなった」	・生活科で育てている植物を観察し、観点を想起して気づいたことをメモしたり絵に描いたりする。
	「おおきなかぶ」	・積極的に登場人物の行動を捉え、これまでの学習をいかして劇遊びをする。
7月	「はをへをつかおう」	・助詞「は」「を」「へ」を使って文を書く。
	「すきなもの なあに」	・いちばん好きなものを選んで、絵に描いて紹介する。
	「おむすびころりん」	・挿絵をもとに、場面の様子やおじいさんの行動を読む。 ・昔話を音読したり演じたりする。
	「こんなことがあったよ」	・体験や出来事を報告する文章を書く。
9月	「やくそく」	・登場人物の言動を押さえながら、話の展開を整理する。
	「かたかなをみつけよう」	・身の回りから片仮名で書く言葉を見つけて読んだり書いたりする。
	「うみのかくれんぼ」	・興味をもった生き物について「1なにが、どこに 2かくれるためのからだのつくり 3かくれんぼのしかた」を調べる。
	「かずとかんじ」	・漢字を使って数え歌を書こうとする。
10月	「くじらぐも」	・想像力を広げて物語を読み、想像したことを友達に伝える。
	「しらせたいな 見せたいな」	・知らせたいものを丁寧に観察し、見つけたことを文章にして伝える。
11月	「じどう車くらべ」	・事物の仕組みを説明した文章を読み、分かったことをまとめる。
	「てがみでしらせよう」	・事物の仕組みを説明した文章を読み、分かったことをまとめる
12月	「たぬきの糸車」	・場面の様子に進んで着目し、好きな場面を音読しようとする。
	「むかしばなしを よもう」	・昔話の読み聞かせを聞く。
1月	「どうぶつの赤ちゃん」	・書かれていることを比べて読む。
2月	「ことばあそびを つくろう」	・「いる」「ある」の使い分けに注意しながらクイズカードを作る。
3月	「ずうっと、ずっと、大すきだよ」	・読んで感じたことを伝え合う。
	「いいこといっぱい 1年生」	・経験したことを報告する文章を書く。

評価計画

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	日常生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解している。	・提出物(ノート・プリント・課題等) ・小テスト、テスト、作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価
思考・判断・表現	順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもっている。	・提出物(ノート・プリント・課題等) ・小テスト、テスト、作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。	・授業に取り組む姿勢 ・提出物(ノート・プリント・課題等)

年間指導計画・評価計画

第1学年 算数

★は前年度の単元
☆家庭で学習する内容

月	単元名	学習内容
1学期	「なかまづくりと かず」	・個数の比べ方や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、数のまとまりに着目して数の大きさの比べ方や数え方を考える
	「なんばんめ」 「あわせていくつ ふえるといくつ」	・数を用いた順序の表し方を理解し、基点に着目して順序を考える ・加法の意味と和が10以内の加法計算の仕方を理解し、数量の関係に着目して加法の意味や加法計算の仕方を考える
	「のこりはいくつ ちがいはいくつ」 「どちらがながい」	・減法の意味と被減数が10以内の減法計算の仕方を理解し、数量の関係に着目して減法の意味や減法計算の仕方を考える ・長さの比較などの活動を通して、長さや測定についての基礎的な意味を理解し、身の回りにあるものの長さについて任意単位などにより比較する。
	「わかりやすくせいりしよう」 「10よりおおきいかず」	・ものの個数について簡単な絵や図に表す方法を理解し、データの個数を簡単な絵や図に表し、それらの特徴を読み取る。 ・40までの数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、10をひとまとまりにして数の数え方などを考える。
2学期	「なんじ なんじはん」 「3つのかずのけいさん」 「どちらがおおい」	・何時、何時半の時刻の読み方を理解し、時計の短針と長針の関係を基に時刻の読み方や表し方を考える ・3つの数の加減計算の仕方を理解し、3つの数の加減計算の仕方を操作や式を用いて考える ・体積の比較などの活動を通して、体積とその測定についての基礎的な意味を理解し、身の回りにあるものの体積について任意単位などにより比較する
	「たしざん」 「かたちあそび」	・1位数どうしの繰り上がりのある加法計算の仕方を理解し、計算の仕方を操作や図を用いて考える ・身の回りにあるものの形について、基本的な立体図形の特徴や機能をとらえ、立体図形についての理解の基礎となる感覚を豊かにしながら、立体図形の形に着目して特徴や機能をとらえたり、構成や分解を考えたりする。
	「ひきざん」 「どんなけいさんになるのかな」	・11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方を理解し、計算の仕方を操作や図を用いて考える ・問題文を読み、それぞれどんな式を立てればよいかを考えて解決する。
3学期	「おおきいかず」 「どちらがひろい」	・2位数や簡単な3位数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、10を単位として数をとらえる力及び数の構成に着目して数の計算の仕方を考える。 ・面積の比較などの活動を通して、面積とその測定についての基礎的な意味を理解し、身の回りにあるものの面積について任意単位などにより比較する。
	「なんじなんぶん」 「たしざんとひきざん」	・何時何分の時刻の読み方を理解し、時計の短針と長針の関係を基に時刻の読み方や表し方を考える。 ・順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面についても加減計算が適用できることを理解し、数量の関係を図に表し計算の意味を考える。
	「かたちづくり」	・身の回りにあるものの形について、基本的な平面図形の特徴をとらえ、平面図形についての理解の基礎となる感覚を豊かにしながら、平面図形の形に着目して特徴をとらえたり、構成や分解を考えたりする。

評価計画

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けている。	・提出物(ノート・プリント・課題等) ・小テスト、テスト、作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価
思考・判断・表現	ものの数、形、身の回りにあるものの特徴を捉え、数え方や計算の仕方、形の構成や量の大きさの比べ方を考えたり、判断したり、表現したりしている。	・提出物(ノート・プリント・課題等) ・小テスト、テスト、作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価 ・作品・作文
主体的に学習に取り組む態度	数量や図形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。	・授業に取り組む姿勢 ・提出物(ノート・プリント・課題等)

年間指導計画・評価計画

第1学年 体育

月	単元名	学習内容
1学期	体ほぐしの運動遊び	・みんなでいろいろな運動を行い、体を動かす楽しさや気持ちよさを味わう。
	多様な動きをつくる運動遊び	・バランスをとったり、体を移動したり、物を使ったり、力を試したりしたいろいろな動きをして、その動きを工夫する。
	かけっこ	・いろいろなくねくねコースを作って走ったり、友達の作ったコースを走ったりする。
	いろいろな鬼遊び	・逃げ方や捕まえ方を工夫して、いろいろな鬼遊びをする。
	固定施設遊び・鉄棒遊び	・登り棒、雲梯、鉄棒の遊び方を知って、いろいろな遊びを試してみる。
	水遊び	・約束を守って、いろいろな水遊びをする。
2学期	表現遊び・大好き！動物ランド	・いろいろな動物になりきって全身で楽しく踊る。
	表現遊び・いろいろなものに変身！	・いろいろなものに変身して全身で楽しく踊る。
	マット遊び	マットを使っていろいろな遊びをしよう。
	跳び箱遊び	・いろいろな跳び方で跳んだり、跳び方を工夫したりして楽しむ。
	ハードルリレー	・いろいろなコースを作って走って跳び越したり、リレーをしたりする。
3学期	幅跳び遊び	・いろいろな川を作って跳んだり、跳び比べをしたりする。
	ボール投げゲーム（的当てゲーム）	・ボールの投げ方や、的の狙い方を工夫して、ボール投げゲームをする。
	ボール投げゲーム（ながれぼしゲーム）	・投げ方や攻め方を工夫してながれぼしゲームをする。
	ボール蹴りゲーム（的当てゲーム）	・蹴り方や攻め方を工夫して、的当てゲームをする。
	ボール運び鬼	・走り方や攻め方を工夫して、ボール運び鬼をする。

評価計画

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	各種の運動遊びの行い方について知っているとともに、基本的な動きを身につけている。	・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価 ・実技
思考・判断・表現	各種の運動遊びの行い方を工夫しているとともに、考えたことを他者に伝えている。	・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価 ・実技
主体的に学習に取り組む態度	各種の運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲良く運動したり、健康・安全に留意して運動しようとしている。	・授業に取り組む姿勢 ・実技

年間指導計画・評価計画

第1学年 道徳

月	単元	学習内容
1学期	1 わたしの すきな こと	自分の好きなことをほかの人に伝えることを通して、自分の好きなことや得意なことを見つけることのよさに気づき、それを伸ばしていこうとする態度を育てる。
	2 みんな いっしょ	自分の好き嫌いとらわれず、誰に対しても公正、公平に接しようとする心情を育てる。
	3 あいさつを する	時と場に応じた挨拶や言葉遣いを身につけることを通して、身近な人々と明るく接しようとする実践意欲と態度を育てる。
	4 きもちが よいのは？	ものを大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、自分でできることを進んで行き、規則正しい生活をしようとする態度を育てる。
	5 がっこうにはね……	日頃自分たちの学校生活を支えてくれたり助けてくれたりしている人々に感謝し、自分ができるところをしようとする心情を育てる。
	6 きを つけて	危ない場所や遊びを理解し危険から身を守るとともに、ものや金銭を大切にす節度や節制のある態度を育てる。
	7 がっこうの ものは？	約束やきまりを守り、みんなが使うものを大切にしようとする心情を育てる。
	8 ハムスターの あかちゃん	身近な生き物の誕生や成長の様子を優しく見つめ、命あるものを大切にしようとする態度を育てる。
	9 うかんだ うかんだ	自分の目標に向かって、一生懸命努力しようとする意欲を育てる。
	10 はしの うえの おおかみ	身近な人たちに温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。
	11 ぼくの あさがお	身近な自然に親しみ、優しい心で動植物の世話をしようとする心情を育てる。
2学期	12 どきどき どっきんぐ	生きていることを喜び、生命を大切にしようとする心情を育てる。
	13 あめが あがって……	美しいものや清らかなものに感動する心情を育てる。
	14 みんな だれかに	日頃、自分たちの生活を支えてくれたり助けてくれたりしている人々に感謝し、自分ができるところをしようとする心情を育てる。
	15 よりみち	学校や家庭でのきまりや規則の大切さを知り、きまりや規則を守ろうとする心情を育てる。
	16 ぼくの しごと	家族の役に立つ喜びを感じ、家族やみんなのために進んで働こうとする心情を育てる。
	17 こぐまの らっぱ	自分がやらなくてはならないことは、最後まで粘り強く行おうとする心情を育てる。
	18 ダメ	よいと思ったことは、恐れないで、勇気を持って行おうとする意欲や態度を育てる。
	19 こころはっぱ	よいと思ったことは、恐れないで、勇気を持って行おうとする意欲や態度を育てる。友達と進んで関わり、仲良くしようとする心情を育てる。
	20 ほかの くから きた たべもの	他国の人々に親しみを持ち、自分たちと異なる文化のよさに気づいて積極的に関わっていこうとする心情を育てる。
	21 かぼちゃの つる	周囲の人と自分のことを考え、わがままをしないで生活しようとする心情を育てる。
	22 みつけて みよう	我が国や自分の暮らす町に親しみ、愛着を持って生活しようとする心情を育てる。
	23 どんぐり	うそをついたりごまかしたりしないで、明るい心で生活しようとする心情を育てる。
	24 はなばあちゃんが わらった	友達やお年寄りなどに優しい気持ちを持ち、相手を大切に思う心情を育てる。
	25 どうぶつの かぞく	家族の優しい心遣いや努力に感謝し、家族のためにできることを進んでやっっていこうとする心情を育てる。
3学期	26 ええところ	自分の特徴に気づき、長所を大切にしようとする心情を育てる。
	27 おうだんほうで	気持ちを込めた挨拶の大切さを知り、自分から進んで人に明るく接しようとする心情を育てる。
	28 みんなの ボール	みんなで使うものを大切に扱おうとする心情を育てる。
	29 二わの ことり	友達と仲良くし、思いやりを持って助け合っていこうとする心情を育てる。
	30 おたんじょうびカード	自分の生命そのもののかけがえのなさに気づき、生命を大切にしようとする心情を育てる。
	31 それって、おかしいよ	よいことと悪いことを区別し、よいと思うことを進んで行おうとする心情を育てる。
	32 ぼくの はな さいたけど	身近な人たちに温かい心で接し、相手のことを考えて親切にしようとする心情を育てる。
	33 もう すぐ はるです	身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとする心情を育てる。
	34 もう すぐ 二ねんせい	友達といっしょに自分たちの学級を大切にす心情を育てる。

月	単元	学習内容
1学期	どんどん かくのは たのしいな 材料や用具に触れながら思い付いたことを表す 2～4	自分の好きなものを、いろいろな形や色などを捉えながら、好きな形や色を使い、表し方を工夫して表すことを楽しむ。
	p.12-13 ちよきちよき かざり 飾るもの・使えるものをつくる 2～4	折ったり重ねたりした色紙を切ることからいろいろな形や色を捉え、飾りたい形を見付けたり、考えたりするとともに、はさみを使うことに慣れ、教室や身近な場所の飾りを工夫して表す。
	ねんどで ごちそう なに つくろう 材料や用具に触れながら思い付いたことを表す／粘土で 1～2	粘土の感触を十分に味わいながら、思い付いたことを試して、いろいろな形や触った感じなどを捉えながら、活動を工夫してつくることを楽しむ。
	やぶいた かたちから うまれたよ 材料や用具に触れながら思い付いたことを表す	破いたりちぎったりした紙の形や色などから表したいことを見付け、いろいろな形や色などを捉えながら、紙を貼ったりかき加えたりして表し方を工夫して絵に表す。
	ひもひも ねんど 材料や用具に触れながら思い付いたことを表す／粘土で 1～2	粘土をひも状にしながらか表したいことを見付け、いろいろな形や触った感じを捉えながら、表し方を工夫し、協力するなどして立体に表す。
	おって たてたら 遊ぶもの・仕組みから思い付いたものをつくる 2～4	紙を折って立てることから表したいことを見付け、いろいろな形や色などを捉えながら、切ったりかいたりするなど表し方を工夫して表すことを楽しむ。
	べったん コロコロ 体全体を働かせながら活動する 1～2	体全体を使っていろいろな材料の形を楽しく写しながら活動を思い付き、写し方を工夫しながら、いろいろな形や色、触った感じなどを捉えたり、つくりだしたりすることを楽しむ。
	カラフル いろみず 材料や場所を基にして活動する／材料を基にして 2～4	いろいろな色の水をついたり、できた色水を並べたりするなど、思い付いたことを試しながら、いろいろな色や形などを捉え、活動を工夫してつくることを楽しむ。
2学期	いろいろな かたちの かみに 材料や用具に触れながら思い付いたことを表す 2～4	紙の形をいろいろな向きから見て、表したいことを見付け、いろいろな形や色などを捉えながら、表し方を工夫して絵に表すことを楽しむ。
	おはなし だいすき 感じたこと、想像したこと、見たことから表す 2～4	物語を聞いたり読んだりして感じたことや想像したことから表したいことを見付け、いろいろな形や色などを捉えながら、表したいものに合う形や色を考え、表し方を工夫して絵に表す。
	いっぱい つかって なに しよう 材料や場所を基にして活動する／材料を基にして 1～2	たくさんの洗濯ばさみに触れて思い付いたことを試して、いろいろな形や色などを捉えながら、活動を工夫してつくることを楽しむ。
	かざって なに いれよう 飾るもの・使えるものをつくる 1～2	箱や袋の形や色、箱や袋に入れたものからつくりたい箱や袋を考え、いろいろな形や色などを捉えながら、飾り方を考え、楽しみながら表し方を工夫して表す。
	でこぼこ はっけん! 身の回りのものの楽しさや面白さ・よさを感じ取る 1～2	身の回りがあるでこぼこを見付け、いろいろな形や触った感じなどを捉えながら粘土で写し、写し取った形の面白さを味わい、見方や感じ方を広げる。
	～こすりだして～ 1～2	身の回りがあるでこぼこを見付け、いろいろな形や触った感じなどを捉えながらこすり出して写し、写し取った形の面白さを味わい、見方や感じ方を広げる。
	はこで つくったよ 材料や用具に触れながら思い付いたことを表す／様々な材料で 2～6	箱を積んだり、並べたり、つなげたりする活動を楽しみながら表したいものを見付け、いろいろな形や色などを捉えながら、工夫して立体に表す。
	のって みたいな いきたいな 感じたこと、想像したこと、見たことから表す／想像したことから表す 4～6	乗ってみたいものや行ってみたい場所を基に自由に想像を広げ、いろいろな形や色などを捉えながら、表したいことを工夫して表す。
3学期	ならべて ならべて 体全体を働かせながら活動する 1～2	身の回りがある材料を並べたり積んだりしながら造形的な活動を思い付き、いろいろな形や色、触った感じなどを捉えながら、活動を工夫することを楽しむ。
	いっしょにあそぼう ばくばくくん 遊ぶもの・仕組みから思い付いたものをつくる 2～4	牛乳パックでつくった仕組みから、楽しく転がるものを考え、いろいろな形や色などを捉えながら、飾り方を工夫して表す。
	すきまちゃんの すきな すきま 身の回りのものの楽しさや面白さ・よさを感じ取る 2～3	すきまちゃんの目で、すきまちゃんと一緒に身の回りの隙間を見付け、いろいろな形などを捉えながら、隙間の形の面白さや楽しさを感じ取り、見方や感じ方を広げる。
	いっしょに おさんぽ 感じたこと、想像したこと、見たことから表す／粘土で 2～4	一緒に散歩に行きたい仲間を思い浮かべて表したいことを見付け、いろいろな形などを捉えながら、形を選んだり考えたりして、表し方を工夫して粘土で表す。
	わくわく おはなし すごろく 遊ぶもの・仕組みから思い付いたものをつくる 4～6	みんなで楽しく遊ぶすごろくを考え、いろいろな形や色などを捉えながら、材料の使い方を工夫してつくり、楽しく遊ぶ。
	にきよきにき とびだせ 遊ぶもの・仕組みから思い付いたものをつくる 2～4	息を吹き込むと膨らむ仕組みを使った楽しいおもちゃを発想したりや構想したりし、いろいろな形や色などを捉えながら、表し方を工夫して表す。
	えのぐをつけた かたちから 2～6 版に表す	写したものの形や色から表したいことを見付け、いろいろな形や色などを捉えながら写し方や色を工夫して、楽しく絵に表す。
	こすりだした かたちから 2～6	写したものの形や色から表したいことを見付け、いろいろな形や色などを捉えながら写し方や色を工夫して、楽しく絵に表す。

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	道具や材料に慣れ、感覚を働かせて工夫して表している。	・提出物(ノート・プリント・課題等) ・作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価
思考・判断・表現	自分のイメージをもって、表し方を考えたり、作品のよさを感じ取ったり、考えたりしている。	・提出物(ノート・プリント・課題等) ・作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価 ・作品
主体的に学習に取り組む態度	意欲をもって、表したり、見たりして進んで活動しようとしている。	・授業に取り組む姿勢 ・作品

年間指導計画・評価計画

第1学年 音楽

月	単元	学習内容
4	うたって なかよし	挿絵の中から想起される歌を体を動かしながら聴いたり歌ったりする。
4	セブンスステップス	外国の遊び歌の旋律に親しみ、音楽に合わせて体を動かしながら聴く。
4	ひらいた ひらいた	音楽に合わせて歌い方や体の動きを工夫しながら、歌ったり遊んだりする。
5	さんぽ	曲想を味わいながら、楽しく歌ったり聴いたりする。
5	じゃんけんぼん	拍によってリズムを打つ。
5	なまえあそび	「なまえあそび」をして、拍にのる感じをつかむ
6	みんなであそぼう	歌声や楽器の音色に気をつけて、拍によって演奏する。
6	しろくまのジェンカ	音楽のよさに気付いて、楽しんで聴く。
6	かたつむり	歌詞の表す様子を思い浮かべて歌ったり、リズムを打ったりする。
7	ぶん ぶん ぶん	音色に気をつけ、リズムの違いを生かして演奏する。
7	ことばでリズム	リズムの組み合わせの特徴を生かして音楽をつくる。
8	うみ	歌詞の表す情景を想像しながら、のびのびと表現する。
8	おとをさがしてあそぼう	学校の中で聞こえる音を見つけ、友達に紹介する。
8	みつばちハニーのぼうけん	場面や様子を想像しながら、鍵盤ハーモニカの音色のよさに気付いて聴く。
9	たのしくふこう	音の高低や長さ、強弱などを工夫して、いろいろな音を吹く。
9	どんぐりさんの おうち	音の出し方に気をつけて、鍵盤ハーモニカの演奏の仕方に親しむ。
9	どれみであいさつ	音の高さの違いを感じ取りながら、鍵盤ハーモニカのドレミの位置を覚える。
10	なかよし	音色に気をつけて、「どれみふあそのまねっこ」遊びをする。
10	ひのまる	音色や旋律に気をつけながら、のびのびとした声で歌う。
10	やまびごっこ	歌い方や声の出し方を工夫して、呼びかけあいを楽しむ。
11	せんりつのみまねっこ・おはなし	呼びかけとこたえでお話するように、つくった旋律を組み合わせる。
11	こうしんきょく	曲や演奏のよさや面白さ、美しさを楽しんで聴く。
11	おとさがし	様々な鳴らし方を試して、1つの楽器からいろいろな音色を見つける。
12	さがしてみよう ならしてみよう	工夫した打楽器のリズムを歌に加えて、グループごとに発表し合う。
12	シンコペーテッド クロック	曲の楽しさや演奏のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。
12	きらきらぼし	音色に気をつけて、鉄琴や鍵盤ハーモニカで演奏する。
1	ほしぞらのおんがく	グループで「ほしぞらのおんがく」をつくる。
1	はる なつ あき ふゆ	歌詞の表す情景や気持ちを想像しながら歌い、表現の仕方を工夫する。
1	さんちゃんか	拍を感じ取って、わらべうたを楽しむ。
2	おちゃらかほい	わらべうたの楽しさを感じ取りながら、いろいろなわらべうたで遊ぶ。
2	あいあい	強弱や歌い方を工夫して聴き合う。
3	こいぬのマーチ	互いの音をよく聴きながら、音色や音量のバランスに気をつけて合奏する。

評価計画

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	音楽的な特徴及び構造と、曲想との関わりについて、表現及び鑑賞の活動を通して理解している。	音楽を表現するための基礎的な技能を身に付けている。
思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの動きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっている。	どのように表すかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見だし、音楽を味わって聴いたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	音や音楽に親しみ、主体的・協働的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	音や音楽のよさや美しさを感じ取り、それらを音楽活動の中で創意工夫し、生かしている。

年間指導計画・評価計画

第1学年 生活

月	単元	学習内容
1学期	はじめの いっぽ	・単元扉と教科書上p.6-7を活用し、小学校入学の喜びを伝え合う。
		・幼稚園、保育所、こども園で遊んだ経験を生かし、新しい友だちや上級生と仲良く遊ぶ。
		・学校に着いてから自分ですることを理解し、実際に行ってみる。
		・朝の会で行う出席確認や健康観察の意味や、必要なことをしっかり伝えることの大切さについて考える。
		・掃除や給食当番などみんなで協力して行う活動や、手洗いや整理整頓などの生活行動を、実際の生活場面でできるように、授業や実際の活動を通して身につけていく。
		・幼稚園、保育所、こども園での遊びを中心にした総合活動でどのようなことをしたかを出し合い、実際にやってみる。
	わくわく どきどき しょうがっこう	・教科書のマークを頼りに何をしているのか考え、経験したことのある遊びとの共通点や相違点を話し合う。
		・小学校の各教科等の学習では、先生や友だちの話を聞いたり自分の考えを話したりして、授業をみんなできつづけていくことに気付いていく。
		・学校探検や集団下校の活動を通して、学校内や登下校時の安心・安全について振り返る。
		・学校の様々なところを探検する。
		・もう一度行ってみたいところや会いたい人などについて伝え合い、2回目の学校探検への意欲をもつ。
		・学校の様々なところを探検する。
	きれいに さいてね わたしの はな	・校舎外の様々なところを探検する。
		・もう一度行ってみたいところや会いたい人を伝え合い、もっと聞きたいという意欲をもつ。
		・自分たちの通学路の様子を見に行く。
		・植物を育てた経験を話し合い、これから育てる植物を決める。
		・育てる種を観察し、気付いたことを紹介し合う。
		・自分なりに工夫して関わり、世話をしていく中で、芽の出方や葉の様子を観察する。
きせつと なかよし はる なつ	・開花の様子を見て、種まきの頃を振り返り、成長の喜びを感じる。	
	・咲いた花の色や匂い、数を観察し、どのようにしたら咲いた花を残せるか考え相談する。	
	・自分たちが考えた方法や教科書を参考にして、色水遊び、色水染め、たたき染めや押し花などをする。	
	・春（夏）だと思ふことや、してみたいことを話し合う。	
	・季節探しのルールやマナーを確認する。	
	・校庭で季節探しをする。	
2学期	なかよく ならうね 小さなともだち	・気付いたことや発見したことなどを、友だちや先生に話したり、学習カードに記録したり、タブレット端末などで写真を撮ったりする。
		・交流を通してもっとやりたくなったことを行う。
		・絵や写真など、自分の体験活動の記録を見ながら、どんなことを伝えたいか見つける。
		・ペアやグループになり、絵や写真を全体に見るように掲示し、体験活動について伝え合う。
		・お互いの発表について感想を言い合い、これからの活動につなげたいこと、改善したいこと、もっと挑戦したいことを話し合う。
		・安全に留意して、実際に生き物探しや、採集活動を行う。
	きせつと なかよし あき	・発表したい内容を決め、準備をする。
		・「生きものと なかよしはっぴょうかい（仮称）」をし、互いに伝え合い、学習を振り返る。
		※教科書上p.74-75（単元扉）を活用して事前指導。
		・春や夏と比較して、秋の様子に興味・関心をもつ。
		・季節探しのルール、マナーを確認する。
		・身の回りの様子の変化を話し合う。
		・春や夏と比較して自然体験活動の計画をたてる。
		・季節探しのルールやマナーをつくる。
		・絵や写真など、用意した自分の体験活動の記録を見ながら、どんなことを伝えたいか見つける。
		・ペアやグループなどで、絵や写真を見せながら体験活動について伝え合う。
		・お互いの発表について感想を言い合い、これからの活動につなげたいこと、改善したいこと、もっと挑戦したいことを話し合う。
		・1日の自分の生活を学習カードに時間軸で並べ、ペアやグループで交流する。
かぞくにこにこ 大ききせん	・インタビューを行う。その際、多様な家庭環境を踏まえ、適宜取り扱う。	
	・家の人の1日を学習カードに時間軸で並べ、友だちと伝え合う。	
	・学級全体で時間軸を使って共有し、気付いたことについて話し合う。	
	・教科書の写真から、自分の経験や考えたことを交流し合う。	
	・実際に遊んでみる。	
	・遊んでみて考えたこと、工夫したこと、感じたことを交流し合う。	
きせつと なかよし ふゆ	・冬を見つける（屋外での活動の）計画をたてる。	
	・これまでの季節の自然や遊びを比べながら、気付いたことをまとめる。	
	※単元扉（教科書上p.114-115）とあわせて活用するとよい。	
	・入学してからこれまでのできごとを友だちと話し合ったりしながら、振り返る。	
	・友だちと話したり、家族や自分を支えてくれている人々に聞いたりして気付いた自分の成長を記録する。	
	もう すぐ 2年生	

評価計画

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよき、それらの関わり等に気付いているとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。	・提出物（ノート・プリント・課題等） ・小テスト、テスト、作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価
思考・判断・表現	身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現している。	・提出物（ノート・プリント・課題等） ・小テスト、テスト、作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価 ・作品・作文
主体的に学習に取り組む態度	身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学ぼうとしたり、生活を豊かにしたりしようとしている。	・授業に取り組む姿勢 ・提出物（ノート・プリント・課題等）